

Rotary  Go Playing Fellowship
of Rotarians
ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

NO,42

2024/07/15

HP <http://www.gopfr.org>

第22回R I 囲碁大会
台湾が日韓退けホームで圧勝
A級独占、B級で日本2位、韓国3位に



前回の東京国際囲碁大会から登場してきた台湾・桃園囲碁ロータリークラブが上位独占する中で、B級準優勝盾を手にした横井孝2段（佐野RC）

< ローター台湾国際囲碁大会結果 > 2024/05/19

A 級者クラス(六段以上)

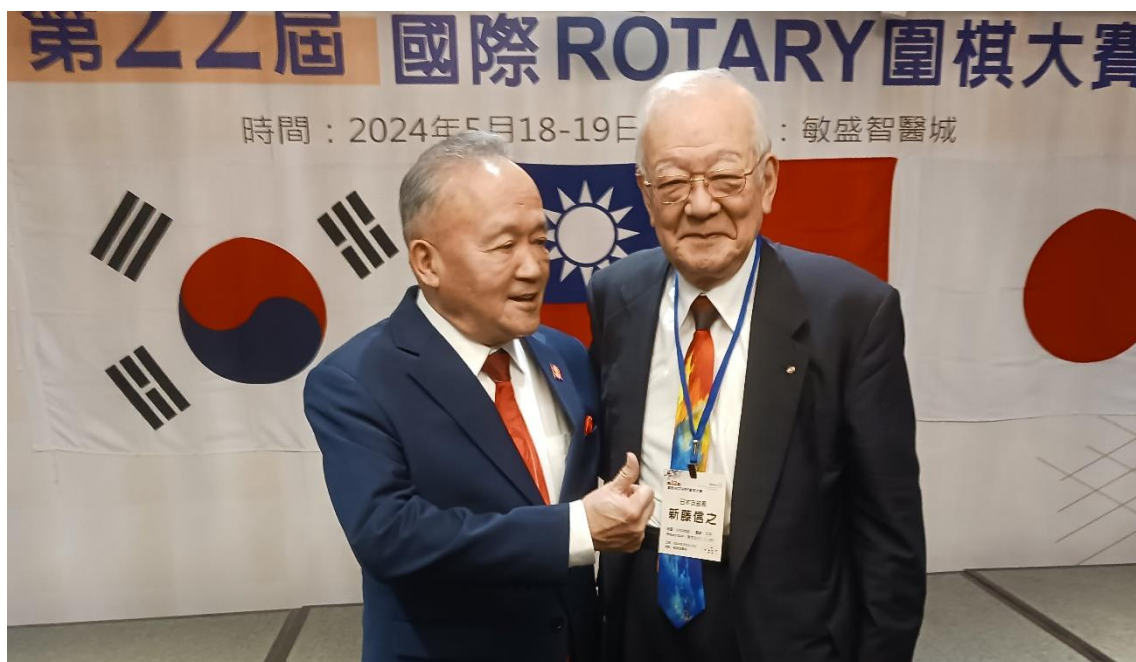
優勝 廖 聖維七段(台湾・桃園囲碁)
準優勝 頼 丞雍七段(台湾・桃園囲碁)
3 位 蕭 義修七段(台湾・桃園囲碁)

B 級者クラス(五段以下)

優勝 楊 紘任五段(台湾・桃園囲碁)
準優勝 横井 孝二段(佐野)
3 位 文 貞順初段(韓国・大邱囲碁)

国別対抗戦

優勝 台湾
準優勝 日本
3 位 韓国



黄其光・元 RI 会長 (2014~15) が 5 月 19 日朝、開会式の歓迎挨拶に立った後、新藤信之・日本支部長 (右) と旧交を温める (台湾・桃園市内の尊爵飯店で)

横井孝 2 段 (佐野 RC) が B 級で面目保つ

第 22 回ロータリー RI 囲碁大会が 2024 年 5 月 19 日 (日)、台湾国際空港がある桃園市内の尊爵飯店で開かれ、日本から 8 名、韓国 10 名、地元台湾から 18 名のロータリア

ンが集まり、コロナ後に1年ぶりの開催になりました。この大会はロータリー囲碁同好会（GPFR）の主催で2000年3月から日本、台湾、韓国の順で毎年春に対抗戦を行っています。米国支部は今回も不参加で、事実上3支部の戦いとなりました。

大会の運営、ルールは現地台湾支部に委ねられており、とくにルールは台湾独自の審判員による裁定となっています。終局して盤面の石をすぐに並べ替えて数え始めないよう注意が肝要です。

AとBの2クラスに分かれ、1時間制限で計4局のスイス方式で行われました。



大会は19日8時20分から点鐘により開会式が開かれ、台湾新支部長の林黄彰氏の歓迎挨拶に始まり、元GPFR会長の楊敏さんら地元市長や黄其光・元RI会長の祝辞の後、新藤信之・日本支部

長と柳貴鉉・韓国支部長が挨拶に立ちました。

午前9時より対局が始まり、昼食をはさんで午後4時30分まで4局の対戦となりました。驚いたことは台湾チームの顔ぶれでした。18名のうち17名が桃園囲碁RCの会員で、多くは30歳前後の若者です。それも七段が6名、六段が7名でA級にエントリーされているのです。

韓国チームの大邱囲碁RCにならったもので、2023年5月に囲碁好きを集めたクラブで、偶数の日曜日午後5時30分から囲碁を打ちながら例会を開いているといいます。現在30人の会員がおり、会長は大会実行委員長の蔡季堯六段です。

A級は台湾チームが日韓の猛者を次々に撃破してしまい、チャンピオンと見込まれた第一人者は遠慮してか3回戦で棄権してしまう余裕でした。

B級は横井二段が勝ち進み、優勝決定戦で読み落としがあつて惜しくも敗退。韓国の女性棋士も奮闘して3位に食い込み、何とか国際大会の面目を保ちました。

大会後、前夜に続きカラオケ大会となり、料理の旨さも加わって3チームが入り乱れたの懇親会になりました。

驚いたことはもう一つあります。大会会場となった尊爵飯店は、主催者の楊敏盛氏が「近くで便利だからホテルごと買ってしまった」といいます。楊さんは近くに病院ビルを持つ医師で、桃園RC会長から3502地区のガバナーを務めています。

この大会には同伴者の「おもてなし」が用意されており、横井さんのご家族、横尾精二六段の奥様が参加され、大会を横目に地元のロータリアン夫婦が市内の名所を案内し

てくれたそうです。

東京出発組の新藤信之、足立盛二郎、山口達夫氏らと私は帰国を1日延長して、ガイドを頼んで市内観光ののち台湾料理も楽しみました。

大会を支えてくださった桃園 RC の游秀葉さん（JUDY）に深く感謝いたします。

再拝。

日本支部幹事 太田清文（東京RC）



第 22 回 RI 台湾囲碁大会 (2024. 05, 19)

大会前日の歓迎晩餐会での日本チーム。足立盛二郎、横尾精二夫妻、宮崎重人、永田博巳、山口達夫、横井孝夫家族、太田清文の11名が参加



昼食はさんでヒートアップ。外は30℃を超して、ますます熱い戦いに。



台湾チームが勢ぞろい。中央の赤いネクタイの台湾支部長。左が楊敏盛・もとGPFR会長。



来賓紹介で手を挙げる黄其光・元RI会長。開会式には地元の市長も挨拶に。



会場脇にカラオケ会場があって、柳貴鉉・韓国支部長は台湾チームを誘ってダンスを披露。



入賞用のA B級2クラスの盾。日韓台の3国対抗戦にも贈呈された。



次回全国大会は10月26日(土)

GPFР 日本支部は2024年10月26日(土)午前10時から東京・市ヶ谷の日本棋院本院1階の対局室で「第23回ロータリー全国囲碁大会」を開催します。

GPFР は日本、韓国、台湾の順で2000年3月よりコロナで中断した2019年まで毎春、国際囲碁大会を開催。強豪韓国に対抗するために2003年に初の全国囲碁大会を開き、以降毎秋に全国大会をおこなってきました。昨年5月20日(土)には国際囲碁大会を3年ぶりに復活しまして、今年は両大会とも「第22回大会」となりました。

今回の全国囲碁大会も3クラス制、1時間の早碁戦で、同クラブ上位2人の得点によるクラブ対抗戦も行います。

3クラスとも個人上位4位まで、またクラス対抗戦は上位3位までのRCに入賞楯を用意しています。登録料は9,000円(昼食代、賞品代等含む)。参加ご希望の方は同封の「全国大会参加申込書」にご記入のうえ、下記の専用FAXに送信してください。折り返し「参加要領」と送金案内を返信しますので、FAXと携帯番号をお書きください。

会費納入のお願いと全国大会のご案内

ロータリアンの囲碁仲間をGPFРにお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位を明記して、下記のGPFР日本支部宛にFAX(03-3452-1652)で送信をお願いいたします。年会費2000円。入会金はありません。

年会費は、同封の郵便振替用紙(口座番号00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、「2024~25年度会費」として9月末までに2000円をご送金ください。

また、10月26日(土)開催の全国大会参加ご希望の方は、上記の会費2000円と登録料9,000円の計11,000円を郵便振替口座あてにご送金ください。大会参加の申し込み締切日は10月11日(金)です。

なお、振込み手数料はご負担ください。GPFРは皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い申し上げます。

GPFРの活動については、[HP\(http://www.gopfr.org\)](http://www.gopfr.org)をご覧ください。

〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1F
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会
専用FAX 03-3452-1652
日本支部長 PDG 新藤信之